

大阪市立東洋陶磁美術館
The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

2016年

8月13日(土)―11月27日(日)

休館日:月曜日(8/15、9/19、10/10は開館)、9/20(火)、10/11(火)
開館時間:午前9時30分〜午後5時(入館は午後4時30分まで)

Charm of the Scholar's Desk -

Water Droppers of the Joseon Dynasty

企画展 朝鮮時代の

水滴

文人の世界に遊ぶ

主催:大阪市立東洋陶磁美術館

観覧料:一般800円(600円)、高大生400円(300円)

(・内は20名以上の団体料金)

・中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名含む)、

大阪市内在住の65歳以上の方(要証明)は無料

同時開催

特集展・李秉昌コレクション韓国陶磁

平常展・安宅コレクション中国陶磁・韓国陶磁、

日本陶磁、沖正一郎コレクション鼻煙壺

青花鉄砂葡萄山本文八角形水滴(癸卯六月日分院 銘(朝鮮時代・1783年) 写真:六田知弘

moc
OSAKA

愛らしく
美しい、
その小さき
粹の宇宙。





①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬

朝鮮時代の文人の世界に遊ぶ

水 滴

Charm of the Scholar's Desk: Water Droppers of the Joseon Dynasty

硯に水を注ぐ水滴は、筆、墨、硯、紙の文房四宝とともに文人の書斎を飾るものです。あくまでも実用品でありながら、文人たちの机のかたすみかにひっそりと息づき、心を癒す愛玩品でもありました。

朝鮮時代(1392-1910)においては、その前期にも水滴の作例がありますが、18世紀に文芸復興の気運にともなう文人趣味が流行しはじめ、19世紀には水滴が数多く制作されました。動物や果実、家形、山形をはじめとする多様な姿をそなえ、さまざまな文様や銘文がほどこされ、そこには高潔、清貧、子孫繁栄、富貴長命など文人の理想や願望が詰め込まれています。

この時代は儒教が国の指導理念であり、文人や支配層は儒教の思想や徳目の実践に努めました。そのおまな空間が、文人たちが学問に励み、詩文や書画を楽しみ、思索にふけり、また客を迎えて政治や学問を論じる舎廊房(サランバン)という書斎です。そこに飾られる質素で気品ある文房具のひとつが、水滴です。

本展では、館蔵品のなかから厳選した水滴126点に、筆筒、紙筒、硯などの文房具や燭台、煙管などの身の道具13点を加え、愛らしく美しい文房具の姿とともに、当時の文人たちの精神世界を紹介します。また、絵画や木工品約10点によって、近代以降、朝鮮陶磁への評価の高まりのなかで日本人が水滴に注いだ眼差しにも、あわせて光をあてます。当館では1988年に水滴展を開催して以来、じつに約30年ぶりに水滴の優品がそろった貴重な機会となります。その精華をぜひご堪能ください。

想や願望が詰め込まれています。

この時代は儒教が国の指導理念であり、文人や支配層は儒教の思想や徳目の実践に努めました。そのおまな空間が、文人たちが学問に励み、詩文や書画を楽しみ、思索にふけり、また客を迎えて政治や学問を論じる舎廊房(サランバン)という書斎です。そこに飾られる質素で気品ある文房具のひとつが、水滴です。

本展では、館蔵品のなかから厳選した水滴126点に、筆筒、紙筒、硯などの文房具や燭台、煙管などの身の道具13点を加え、愛らしく美しい文房具の姿とともに、当時の文人たちの精神世界を紹介します。また、絵画や木工品約10点によって、近代以降、朝鮮陶磁への評価の高まりのなかで日本人が水滴に注いだ眼差しにも、あわせて光をあてます。当館では1988年に水滴展を開催して以来、じつに約30年ぶりに水滴の優品がそろった貴重な機会となります。その精華をぜひご堪能ください。

記念講演会

「朝鮮時代・18-19世紀における文人の書斎とその世界」

講師：西垣安比古氏
(京都大学名誉教授)

日時：2016年8月21日(日)
午後2時54分(受付開始1時30分)

場所：大阪市立東洋陶磁美術館・地下講堂
定員：70名(事前申込制)
(申込締切：8月8日(月) 必着)

講座

「朝鮮後期の文人文化と文房具——水滴を中心にして」

講師：鄭銀珍
(大阪市立東洋陶磁美術館学芸員)

日時：2016年10月22日(土)
午後2時53分(受付開始1時30分)

場所：大阪市立東洋陶磁美術館・地下講堂
定員：70名(事前申込制)
(申込締切：10月3日(月) 必着)

※参加費はいずれも無料
※本展の観覧券をご提示ください。
※お申込方法とご注意
・往復はがきに講演会日時・住所氏名・電話番号を明記の上、東洋陶磁美術館学芸課まで
・お郵送ください。(はがき1枚につき1名様有効)
・応募者多数の場合は抽選となります。
・お申込の際にご提出いただく住所氏名などの個人情報には厳重に管理し、本事業の実施ならびに事務連絡以外には使用いたしません。

①白磁環形水滴(朝鮮時代・19世紀) ②瑠璃地鉄砂環形水滴(朝鮮時代・19世紀) ③縹砂環形水滴(朝鮮時代・19世紀) ④青花山水文長方形水滴(朝鮮時代・18世紀) ⑤青花山形水滴(朝鮮時代・18-19世紀) ⑥青花蝶文桃形水滴(朝鮮時代・19世紀) ⑦青花山水文長方形水滴(朝鮮時代・19世紀) ⑧青花草花文長方形水滴(朝鮮時代・16-17世紀) ⑨鉄砂草書文宝珠形水滴(朝鮮時代・17-18世紀) ⑩青花透彫神獸文水滴・筆筒(朝鮮時代・19世紀) ⑪青花虎形水滴(朝鮮時代・19世紀) ⑫縹辰砂柿形水滴(朝鮮時代・19世紀) ⑬青花葡萄文円筒形水滴(朝鮮時代・19世紀) 写真：六田知弘

【交通】京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ、地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」、地下鉄堺筋線・京阪本線「北浜」各駅から約400m、大阪市中央公会堂東側

【問い合わせ】大阪市立東洋陶磁美術館 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26
電話06-6223-0055 Fax06-6223-0057 <http://www.moco.or.jp>

The Museum of Oriental Ceramics, Osaka
大阪市立東洋陶磁美術館

